

平成29年度 相談支援センターありす事業計画

1 運営方針

障害者総合支援法及び児童福祉法の趣旨に則り、利用者個々の有する能力及び適性に
応じた自立した生活を営むことができるよう福祉サービスが総合的に提供できるよう支
援します。

具体的には、指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業として「サービス等
利用計画」、「モニタリング報告書」等の計画相談を重点的に行ってまいります。

また、指定一般相談支援事業として、地域移行支援事業や地域定着支援事業にかかる
相談支援を行います。

2 サービス等利用計画の作成状況

平成29年3月1日現在

(1) ありす福祉施設利用者

	定 員	計画作成者		備 考
		相談支援セン ターありす	その他 ※①	
みのりの郷	20	14	2	
聖神学園	60	50		※②
グループホームかのん	(29)	—	—	※③
あかねの郷	20	19	2	
あいな園	10	10	2	
坂戸市立勝呂福祉作業所	20	16	2	
坂戸市立城山福祉作業所	20	15	2	
	150	<u>124</u>	10	

※① 他の相談支援事業所が作成か、本人若しくは家族によるセルフプラン

※② 聖神学園は通所の方も含む

※③ グループホームかのんの利用者は、みのりの郷、聖神学園（通所）、あかねの郷のいずれかを利用しているため計画作成数は除外した

(2) 他施設・在宅者

坂戸市	毛呂山町	鳩山町	日高市	越生町	小川町	その他	計
41	35	31	19	5	5	6	<u>142</u>

(3) (1)と(2)の合計 124名 + 142名 = 266名

(4) 内訳

ア 男女の割合

区 分	人 数	割合(%)
男 性	167	62.8
女 性	99	37.2
計	266	100.0

イ 施設入所の割合

区 分	人 数	割合(%)
施設入所	57	21.4
そ の 他	209	78.6
計	266	100.0

ウ 18歳以上(成人)と18歳未満(児童)の割合

区 分	人 数	割合(%)
18歳以上(成人)	242	91.0
18歳未満(児童)	24	9.0
計	266	100.0

エ 障害種別の割合

18歳以上(成人)

区 分	人 数	割合(%)
身体障害	4	1.7
知的障害	195	80.5
精神障害	20	8.3
重複障害	23	9.5
計	242	100.0

18歳未満(児童)

区 分	人 数	割合(%)
身体障害	1	4.2
知的障害	19	79.1
発達障害	1	4.2
重複障害	3	12.5
計	24	100.0

3 平成29年度の方針

通常の相談支援を行うとともに、次の点を重点的に取り組んでまいります。

在宅者の中には、障害者の兄弟がいても結婚等で独立するなどで、年老いた親（例 60～80歳代）と中年の障害者（例 30～50歳代）のみで構成された家族が非常に増えている。

そうした方は将来への不安から短期入所やグループホーム等の利用を希望するも、見学に至らなかったり利用に至らなかったりする事例（下記）が少なくない。

そのため、利用者との調整を図り個別に見学や体験利用等の機会を提供するなど、障害者や家族に寄り添ったきめ細かな相談を進めていきたい。

【具体的な事例】

1 女子（52） 2人世帯（母、本人） 鳩山町

母（83）物忘れ症状が出てきており歩行等も覚束なくなっている

本人がヘルパーや施設等外部との関係を拒絶

居宅介護事業者と契約しても、ヘルパーが家の中に入るのを拒む

通院等外出時、細い体の母が50kg超の娘の車いすをよろよろした状態で介助

最近になって、やっと訪問看護が定期的に入り、かろうじて見守り体制ができた

2 男子（42） 3人世帯（父、母、本人） 坂戸市

父（79）は無呼吸症候群で器械装着、母（74）は癌の手術後静養

作業所には午前のみで、午後は自宅でテレビ等で過ごす

グループホーム等の見学も強く拒否

3 女子（36） 3人世帯（父、母、本人） 坂戸市

作業所で気に入らないことがあると、（外ではおとなしいが）家庭で暴れる

グループホームの見学を予定しても間際になると落ち着かなくなりドタキャン

父（72）が一生懸命面倒を見ていたが、最近怒ることが多く現在関係は断絶

母（65）の精神的負担が非常に大きくなっている

- 4 男子（４３） ３人世帯（父、母、本人） 坂戸市
 ３０歳ころ、本人を十分説得しないまま短期入所に入れようとしたが、施設から逃走した経緯がある
 以後、それがトラウマになり短期入所を強く拒否するようになる
 最近、「家族を安心させるため短期入所をする」という言葉は発するが、進まない
 現在、短期入所の前提で、日中一時支援を年に１～２回かろうじて利用している
 父（７３）母（７１）とも半ばあきらめかけている
- 5 女子（３０） ４人世帯（祖母、父、母、本人） 坂戸市
 現在、母（６０）か祖母（８１）と一緒に風呂や就寝している
 父（６０、公務員）には従順だが、父のいない所で母や祖母を蹴飛ばす等の暴力
 グループホームの見学も強く拒絶

他にも同様な事例はかなりあり、親達は年齢を重ねる中、この先どうしていいのか苦悩している

こうした方の場合、仮に今後グループホームや短期入所施設が増えたとしても、利用そのものを嫌がっているため根本的な解決に至らない場合が多い
 個人の問題とも言えるが、社会の構造的な問題もあるように思われる

構造的な問題と考えられるもの

① 長寿化

平均寿命の推移

	１９２１～２５ (大１０～１４)	１９４７ (昭２２)	１９６０ (昭３５)	２０００ (平１２)	２０１５ (平２７)
男	４２．０６	５０．０６	６５．３２	７８．０７	８０．７９
女	４３．２０	５３．９６	７０．１９	８４．９３	８７．０５

一般的に障害者の平均寿命は、１０年短いと言われている。

② 核家族化の進行によりますます親に負担が覆いかぶさってきている

③ 施設中心から地域中心の生活スタイルの変化

〔重度障害児の場合〕

小さい頃から学校の寄宿舎や障害児施設へ入所、親と離れる生活を強いられた
 学校卒業後も施設入所を続けた例が多く、その後の生活は施設まかせの状態

↓

親の庇護のもと、自宅からの通学や卒業後は自由の利く在宅生活を継続してきた
 グループホーム等の集団生活を送る上での最低限の制約でも嫌がる傾向がある

④ 入所施設のセーフネット機能の縮小

入所施設の役割りが狭まる中、最後の抛り所が失われつつある

かつて、最終的には措置（行政処分）による入所が有力な選択肢としてあったが、今はそうした姿が見えてこない

→ 親亡き後の生活がどうなるのか想像することすら難しい

(4) ありす福祉会以外の利用施設

(50音順)

名 称	施設所在地	施 設 種 別
あいあい作業所	毛呂山町	就労継続支援B型
あいあい滝ノ入作業所	毛呂山町	生活介護
愛弘園	東松山市	障害者支援施設
あおぞら	鶴ヶ島市	生活介護
あんだんて	東松山市	就労継続支援B型
ウッドワーク川本	深 谷 市	就労継続支援B型
オードリー	東松山市	就労継続支援B型

名 称	施設所在地	施 設 種 別
おごせ福祉作業所	越 生 町	就労継続支援B型
第2おごせ福祉作業所	越 生 町	生活介護
カウベル	鶴ヶ島市	就労継続支援B型
第2カウベル	鶴ヶ島市	就労継続支援B型
きぼう工房	所 沢 市	就労継続支援B型
グローイングハート	鶴ヶ島市	放課後等デイサービス
光風寮	毛呂山町	障害者支援施設
第2光風寮	毛呂山町	障害者支援施設
第3光風寮	毛呂山町	障害者支援施設
こどもプラス坂戸教室	坂 戸 市	放課後等デイサービス
こまのさと作業所	日 高 市	就労継続支援B型
さかど療護園	坂 戸 市	生活介護
雑草授産センター	東松山市	就労継続支援B型
第2雑草授産センター	東松山市	就労継続支援B型
サン・フレッシュ・メイト	東松山市	就労継続支援B型
砂久保ファクトリー	川 越 市	就労継続支援B型
西山荘	鳩 山 町	障害者支援施設
千樹の里	ときがわ町	就労継続支援B型
第3かわせみ・ふあふあ	日 高 市	就労継続支援B型
大地の郷	吉 見 町	就労継続支援B型
デイセンターウィズ	嵐 山 町	生活介護
ともだち	吉 見 町	就労継続支援B型
なかよし	鶴ヶ島市	放課後等デイサービス
はばたき	鳩 山 町	就労継続支援B型
ハッピーテラス	鶴ヶ島市	放課後等デイサービス
はびねすくらぶ北坂戸	坂 戸 市	放課後等デイサービス
はびねすくらぶ鶴ヶ島	鶴ヶ島市	放課後等デイサービス

はまや鶴ヶ島作業所	鶴ヶ島市	就労移行支援
		就労継続支援B型
光の家	毛呂山町	療養介護
ふれあい工房	日高市	就労継続支援B型
ふれあいの里・どんぐり	毛呂山町	障害者支援施設
報恩施設	毛呂山町	障害者支援施設
蛭	日高市	放課後等デイサービス
ほっと	坂戸市	放課後等デイサービス
ぽんて	坂戸市	児童発達支援
		放課後等デイサービス
ぽんてなないろ	坂戸市	児童発達支援
		放課後等デイサービス
むさしの日高作業所	日高市	就労継続支援B型
ゆめの園	鶴ヶ島市	就労移行支援
		就労継続支援B型
ライス・オン・ライス	東松山市	就労継続支援B型
むさしの日高作業所	日高市	就労継続支援B型

名 称	施設所在地	施 設 種 別
ゆめの園	鶴ヶ島市	就労移行支援
		就労継続支援B型
ライス・オン・ライス	東松山市	就労継続支援B型
ラボリ	坂戸市	就労移行支援
		就労継続支援A型
		就労継続支援B型
嵐山郷	嵐山町	障害者支援施設
ワンダーハウス〔旧光の家〕	毛呂山町	放課後等デイサービス

この他、居宅サービス(ヘルパー)、グループホーム、訪問看護等を利用している方も多くいる。

平成26年度 相談支援センターありす事業報告書

1 運営実績

障害者総合支援法及び児童福祉法の趣旨に則り、利用者個々の有する能力及び適性に応じた自立した生活を営むことができるよう福祉サービスが総合的に提供できるよう支援しました。

執行体制は職員4名でした。

具体的な業務では、指定特定相談支援事業及び指定障害児支援事業として「サービス等利用計画」「障害児支援計画」「モニタリング報告書」の作成等を行いました。

また、指定一般相談支援事業としての地域移行支援事業や地域定着支援事業につきましては該当事例がありませんでした。

2 サービス等利用計画、障害児支援計画の作成

(1) ありす福祉会利用者 約120名

全員作成済み（一部他相談支援機関が担当）

(2) 他施設・在宅者

	作成済人数
坂戸市	41
毛呂山町	33
鳩山町	30
日高市	20
越生町	5
その他	8
合 計	137

(3) ありす福祉会以外の施設利用状況

名 称	施設所在地	施 設 種 別	利用者
あいあい作業所	毛呂山町	就労継続支援B型	4
あいあい滝の入作業所	毛呂山町	生活介護	4
愛弘園	東松山市	障害者支援施設	3
あゆみ	鶴ヶ島市	放課後等デイサービス	1
		児童発達支援	1
あんだんて	東松山市	就労継続支援B型	1
ウェルビー	川 越 市	就労移行支援	1
ウッドワーク川本	深 谷 市	就労継続支援B型	4
おごせ福祉作業所	越 生 町	就労継続支援B型	7
第2おごせ福祉作業所	越 生 町	生活介護	3

名 称	施設所在地	施 設 種 別	利用者
カウベル	鶴ヶ島市	就労継続支援B型	4
第2カウベル	鶴ヶ島市	就労継続支援B型	1
かつちゃんの作業所	鶴ヶ島市	就労継続支援B型	1
こすもす作業所	坂戸市	就労継続支援B型	1
こまのさと作業所	日高市	就労継続支援B型	6
さかど療護園	坂戸市	障害者支援施設	1
Z A C	東松山市	就労移行支援	1
J a s t	川越市	就労移行支援	1
雑草授産センター	東松山市	就労継続支援B型	3
第2雑草授産センター	東松山市	就労継続支援B型	4
サン・フレッシュ・メイト	東松山市	就労継続支援B型	1
砂久保ファクトリー	川越市	就労継続支援B型	1
千樹の里	ときがわ町	就労継続支援B型	3
第2光風寮	毛呂山町	障害者支援施設	1
第3光風寮	毛呂山町	障害者支援施設	1
大地の郷	吉見町	就労継続支援B型	1
デイセンターウィズ	嵐山町	生活介護	3
はばたき	鳩山町	就労継続支援B型	1 3
はびねすくらぶ	坂戸市	放課後等デイサービス	5
光の家	毛呂山町	療養介護	6
		放課後等デイサービス	1
		児童発達支援	1
ふれあいの里・どんぐり	毛呂山町	障害者支援施設	3
報恩施設	毛呂山町	障害者支援施設	1
ほのぼの	坂戸市	地域活動支援センター	1
ぽんて	坂戸市	児童発達支援	2
むさしの日高作業所	日高市	就労継続支援B型	7
ゆめの園	鶴ヶ島市	就労継続支援B型	1
ライソンライス	東松山市	就労継続支援B型	1
ラボリ	坂戸市	就労移行支援	1
嵐山郷	嵐山町	障害者支援施設	2
合 計			1 0 8

4 利用対象

障害福祉サービスを利用する支給決定障害者等であって、市町村が必要と認めた方、その他支援を必要とする方を対象としています。

障害の範囲

(1) サービス等利用計画

全ての障害者（児）を対象としています。

「知的障害者」「身体障害者」「精神障害者」「難病」「障害児」

(2) 地域移行支援、地域定着支援

次の障害者（児）を対象としています。

「知的障害者」「身体障害者」

5 利用契約

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づくサービスを利用している人に対し、当事業所のサービス利用が発生する際は。本人及び保護者に重要事項 説明書で説明の上、利用契約を結び「サービス等利用計画」等を作成しました。

6 権利擁護

- ・ 情報管理 . . . 職員は業務上知り得た情報を外部に漏らすことがないように徹底しています。
- ・ 情報公開 . . . 関係機関より記録、文書公開の請求があったときは、公開できる範囲で開示することとしましたが、該当事例はありませんでした。
- ・ 苦情受付 . . . 苦情解決の責任主体を明確にするため、苦情解決責任者を置きました。
苦情解決責任者は管理者が当たることとしましたが、苦情は全くありませんでした。。

7 職員研修

職員の資質向上のため、年2回の法人内研修に参加しました。